

第3回令和3年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録

令和2年7月9日（木）10時00分～

委員長 皆様、おはようございます。本日はお忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

それでは、会議の開会に先立ちまして、傍聴の皆様にお願いがございます。お手元の傍聴要領をご覧ください。「藤沢市教科用図書採択審議委員会の傍聴要領」に従い傍聴くださいますようお願いいたします。

なお、この会議は公開であるとともに、審議の内容につきましては、会議録作成の都合上、録音をさせていただきます。

それでは、ただいまより第3回令和3年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を開催いたします。

本日の次第をご覧ください。今回、ご審議いただく内容は、議題1「令和3年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」、議題2「令和3年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」の2点でございます。

まず始めに、藤沢市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議録署名委員を指名いたします。委員長の私の他に、今回も石田委員をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

石田委員 はい、承知いたしました。

委員長 ありがとうございます。では、石田委員、よろしくお願いいたします。

それでは、審議の前に資料等について事務局に説明を求めます。

事務局

今回の資料を説明させていただく前に、前回の資料に訂正がございますので、そのことについて説明いたします。

お手元の「中学校用（令和3・4・5・6年度用）『調査資料』」をご覧ください。次の点につきまして誤りがございましたので、訂正した調査資料を改めて配付させていただきました。

34ページについてです。英語の啓林館の1つ目の観点、「編修の趣旨と工夫」「学習指導要領との関連」「内容と構成」「教科・種目別の観点」の二次元コードについて、「動画無し。本文音声有り、文字有り。単語音声有り、文字有り。」でございました。

なお、市民相談情報課で公開している資料につきましては、正しく記載した調査資料を本日より公開しております。

続きまして、第2回審議委員会から本日までの特別支援教育に関する教科用図書の調査研究の流れについて説明いたします。

今回ご審議いただく教科用図書は、学校教育法附則第9条に規定された教科用図書です。特別支援教育に関する教科用図書については、児童生徒の実態に合った一般図書を充ててもよいとされているものでございます。

現在、全国の義務教育諸学校で教科用図書として使用しております一般図書のうち、比較的採択数が多く、かつ発行者が令和3年度においても引き続き当該図書の発行、供給を予定しているものを文部科学省初等中等教育局教科書課が令和3年度用一般図書一覧としてまとめました。この一般図書一覧を第1回審議委員会資料1の中にとじて審議委員の皆様へ配付しております。

この一覧に載っている図書は、5月14日から19日まで藤沢合同庁舎で展示されました。この展示会におきまして、白浜養護学校と市内小中学校特別支援学級の教員が、展示されている図書を見ながら、在籍する児童生徒の実態や次年度入学する児童生徒を想定して調査研究を行い、その結果について、該当

学校から教科用図書調査書が提出されております。

それでは、資料の説明をいたします。

まず、サイドテーブルの資料について説明いたします。そこらには、令和3年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書と特別支援教育関係教科用図書見本の一部が展示してあります。令和3年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書は、特別支援学級設置学校長及び特別支援学校長が自校の教師に調査研究させたものを簿冊としたものです。

次に、「令和3年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書まとめ」です。これは、当該学校から提出された令和3年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書を基に事務局でまとめたものです。

こちらの1ページをお開きいただき、一覧表の一番上のところをご覧ください。この一覧表は、附則第9条による図書を4つに分けて表記してあります。

まず1つ目は「新」の文字を記載したもので、これは、今回調査研究をした結果、新たに教科用図書としてふさわしいとして提出された新規図書でございます。

2つ目は「□」の記号を記載したもので、これは、昨年度採択された図書で、本年度の調査研究の結果、複数の種目において教科用図書としてふさわしいとされた図書でございます。

3つ目は「●」の記号を記載したもので、これは、昨年度採択された図書で、令和3年度に発行者による供給が困難となった図書でございます。

最後、4つ目は無印のもので、これは、昨年度採択され、本年度も教科用図書としてふさわしいと調査された図書でございます。

なお、資料1として、21ページから27ページに新規図書

と複数種目で希望のあった図書等を一覧表にしてお示ししてご
ざいます。この資料には、児童生徒一人一人の特性や発達段階
を踏まえた上で各学校が一人一人に適した教科用図書として選
定した理由を記載してございます。

続きまして、18ページをご覧ください。一覧表の最後のNo.
10、道徳の欄の下のございますが、今説明をいたし
ました一般図書の他に、点字教科書、拡大教科書並びに令和3
年度使用小学校用教科用図書、令和3年度使用中学校用教科用
図書、特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書がござ
います。

なお、特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書につ
きましては、資料2として、29ページ、30ページにお示し
しました。これは、第1回の審議委員会の資料として「特別支
援学校用（小・中学部）教科書目録（令和3年度使用）」をお渡
しいたしましたが、この中で知的障害者用として挙げられてい
る図書でございます。この本は星印本と呼ばれているものでご
ざいます。

また、31ページに資料3として、一般図書を採択希望する
場合の留意事項につきまして記載しております。

なお、例年、これらの資料のうち令和3年度使用特別支援学
校及び特別支援学級用教科用図書調査書は、個人情報等の配慮
の必要があることから非公開といたします。

また、その他の資料等は、この会場で傍聴の皆様にも公開し
ておりますが、今年度につきましては、新型コロナウイルス感
染防止上、密な状況を避けるため、この場での公開はいたしま
せん。後日、市役所市民相談情報課及び教育委員会のホームペ
ージで公開いたします。ご理解、ご協力くださいますようお願い
いたします。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

 ただいま資料について説明がありました。

 事務局の説明にもありましたとおり、令和3年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書につきましては、個人情報等の配慮の必要があることから非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 ありがとうございます。

 それ以外の資料等について何かご質問はございますか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。では、質問がないようですのでこれから議事に入ります。

 議題1「令和3年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」審議してまいります。新規の図書については、本審議委員会が初めて審議する場になっておりますので、慎重な審議をお願いしたいと考えます。どうぞよろしく願いいたします。

 それでは、これから審議してまいりたいと思いますが、審議について何かご意見ございますか。志水委員。

志水委員 毎年のことですけれども、それぞれの学校からは、子どもたちの障がいやその特性、あるいは発達段階に応じて教科用図書として使用できる一般図書が多く出されております。特別支援学校や特別支援学級に在籍する子どもたちにふさわしい教科用図書として、附則第9条によって教科用図書として使用できる一般図書を幅広く用意することが大切だと考えております。い

かがでしょうか。

委員長 ありがとうございました。他にご意見は。千葉委員。

千葉委員 私も同じ考えです。今回、各学校で調査研究をした結果、教科用図書にふさわしいものとして、新規図書や複数の種目で使いたいという一般図書が数多く出されております。

 本校の調査の様子を見ましても、生徒一人一人の実態を踏まえて精査しておりましたので、昨年度までに採択された一般図書は「●」の発行者による供給が困難となった図書を除いて引き続き採択を希望することとし、今年度新たに出された一般図書について審議する方向がよいと思います。

 以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょう。井上委員。

井上委員 私も同じように考えます。先ほど事務局から説明がありましたように、この調査書まとめの中に複数の種目で申請のあるものに「□」がついています。また、今年度新たに希望が出ているものには「新」とあり、また、「新□」という図書がございますけれども、それについて、先ほどありましたように、21ページから一覧にさせていただいています。これらの図書について審議していくということではいかがでしょうか。

委員長 他にご意見はございますか。

各委員 なし。

委員長 それでは、ただいまのご意見を受けまして、各学校から希望が出ている一般図書について、教科用図書として使用できる方

向で考えていくこと、そして、これからの審議については、新規の図書と複数の種目で希望が挙げられている図書について審議していくということによろしいでしょうか。

各委員 はい。

委員長 では、そのように審議を進めてまいります。

調査書まとめの印でいいますと、「新」と書かれた新規図書、そして、「□」の印がついている複数種目で希望がある図書についてご意見を伺いたいと思います。新規図書や複数種目で希望がある図書については、No. 1 の国語・書写からNo. 10 の道徳までの種目に合計39冊入っております。

審議につきましては、学校からの調査書には、どのような特性のある児童生徒にどのような教科用図書がふさわしいかという点が挙げられていることから、子どもたちの実態や特性という視点からご意見を伺いたいと思います。

審議の都合上、分野を3つに区切って審議を進めていきたいと思っております。

それでは、まずNo. 1 の国語・書写とNo. 2 の算数・数学の教科領域で申請が挙げられている15冊の図書についてご意見を伺いたいと思います。他の種目でも希望が挙げられている図書がありますので、それも含めてご意見を伺いたいと思います。よろしく願いいたします。いかがでしょうか。野村委員。

野村委員 私は、No. 1 国語・書写の4「ニューワイド学研の図鑑増補改訂 昆虫」について述べさせていただこうと思います。

既に生活・理科で使用されている図書ですが、図版が大変鮮やかで、写真も精密ですし、昆虫のことに興味関心を持って詳しく調べるのに適していると思います。生物に興味がある児童生徒はもとより、初めてこの本に触れた場合であっても、この

本の内容をもっと知りたいと思うようになるような図鑑です。

全ての漢字にルビが振ってあり、読みやすく、説明文には生物名が片仮名で表記してあるなど、平仮名が読めるようになってきた児童がさらに片仮名の学習に発展させていただくようなときにも、実態に合わせて学習を進めることができると考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。No. 1 国語・書写の 4 番「ニューロイド学研の図鑑増補改訂 昆虫」についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょう。小路委員。

小路委員 私は、No. 1 国語・書写の 1 から 3 にあります偕成社から出されています「下村式 となえてかく漢字練習ノート」小学 1 年生から 3 年生までについて述べさせていただきます。

特別支援学級に通う児童にとって、文字を正しく丁寧に書くこと、それを定着させることはとても難しいことだと思います。この「下村式 となえてかく漢字練習ノート」は、漢字の練習のときに、書き順に合わせてその形を口で唱えながら練習するようになっています。つまり、漢字を書きながら、口から声に出して、そしてそれを耳で聞くという刺激を楽しみながら受けることができる内容になっています。

その他にも、漢字の成り立ちがわかりやすい絵で説明されていて、視覚的な面からも漢字の理解が進むように工夫されています。また、漢字を人体とか動物、植物などとそれぞれの漢字の持つ意味ごとにファミリーというテーマでまとめて、そのファミリーごとに並べて出題されているので、漢字と漢字を関連づけながら学ぶこともできます。このように友達や先生とコミュニケーションを取りながら楽しく学んでいくことができるのではないかと思います。

委員長 ありがとうございます。国語・書写の偕成社、1番から3番のご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。井上委員、お願いします。

井上委員 私は、国語・書写の5番と6番、くもん出版の「いっきに極める国語」(1)と(2)について申し上げます。これは、(1)が小学校1年生から3年生の漢字、(2)が小学校4年生から6年生の漢字が練習できるようになっている書籍です。

この2冊は、一気に極めるという名前のとおり、漢字を1字ずつばらばらに練習するのではなくて、意味や形や部首など、共通点のあるものをグループにして、まとめて一気に覚えたり、練習したりすることができるつくりになっています。

まず、印象的なイラストを使ったページで、書き順を意識しながら、なぞり書きをするようになっています。それから、次のページで単語や例文の中で実際に書いてみるという同じパターンが繰り返されています。イメージに残りやすくて、効果的に楽しく学習が進められるというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。国語・書写の5番、6番「いっきに極める国語」の(1)と(2)でのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。千葉委員、お願いします。

千葉委員 国語・書写の「中級編ジャンプアップ こくごⅡ」「こくごⅢ」、「上級編レベルアップ ことばのつかいかた」の3冊です。この3冊は、いずれもこばと教材出版から発達支援教育教材シリーズとして出されています。

特別支援学級に通う生徒にとって、文字を丁寧に書いたり、文字を覚えたりすることなど、学習内容を定着させることはた

いへん難しいことだと思えます。そうした生徒にとっては、同じ内容や同じレベルの学習に繰り返し取り組むことが、学習したことを確実に身につけるために必要になってくると思えます。こういったドリル形式の教科書は、学習効果を高める上でたいへん有効だと思いました。

この3冊は連続性があり、継続して使用するとさらに学習効果が上がるものと思われます。このドリルの絵を見て、「カタカナになおして書きましょう」や、「なきごえをよんでつなぎましょう」などは、生活にもつながる場面があり、とてもよいと思いました。また、このドリルは、発達支援教育の知見に基づき作成されているため、指示が明確であったり、1枚1枚のシートに取り組みやすい配慮がなされていたりするように思いました。

いずれにせよ、国語・書写の教科書として特別支援学級で使用するということですが、書写の教科書として様々な障がい特性を持った生徒に対して用いると有効であるというだけでなく、横断的な学習教材としてもすぐれているように思いました。以上です。

委員長 ありがとうございます。国語・書写、番号7、8、9のドリルについてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。越委員、お願いします。

越委員 算数・数学の5番「上級編レベルアップ お金と時計の文章題」の本のところからご意見させていただきます。

時間は生活に欠かせないものであります。こちらの本で時間の計算がよくわかるようになっていました。例えば、〇〇さんは、どここの場所で何分に待ち合わせしています。待ち合わせ時間に間に合わせるには何時に家を出ればいいでしょうか。これはなかなか難しい計算でして、それが非常にわかりやすく、

またシンプルで繰り返し学べるような形式になっていたのがとても印象的でした。こちらのこぼとの発行者のものが国語・書写のほうにも7、8、9とあるんですが、こちらの発達支援教育教材シリーズ全て、国語・書写、算数・数学、共通して言えることが、見開いたときに無駄がなく、とてもシンプルで、繰り返しの問題をこなす、学べるテキストとしては、とてもわかりやすく、いいものだなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。算数・数学の5番「上級編レベルアップ お金と時計の文章題」についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。志水委員、お願いします。

志水委員 今の千葉委員と越委員からお話しされた同じこぼと教材出版のシリーズについて、私もお話ししたいと思います。

算数・数学で「中級編ジャンプアップ さんすうⅡ」と、今、越委員がお話しされた「お金と時計の文章題」が今回出ておりますけれども、こちらは知的障がいですとか発達障がいの療育の場で、子どもに合わせて、手づくりで使っていた教材をドリルとしてまとめたものです。生活に結びつく形で編集されておりますので、社会生活の自立につながる内容となっています。本市でも、これまで数冊採択をされています。

特に算数・数学で出ている2冊については、スモールステップで学べる構成で、問題が1ページに平均で5、6問、最大で20問というくらいになっておりますので、見通しが持ちやすく、満足感や達成感が得られやすいように配慮されています。

また、越委員もおっしゃってございましたけれども、時計の問題のページには針のない時計が書かれておりまして、視覚優位の傾向がある子どもたちには、時計の針を書き込みながら、目で見て確認して問題に取り組むことができます。何人かの委員

がおっしゃっておいりましたけれども、こういった視覚の面での支援があつて、繰り返しやパターン化されたドリル形式のものは、特別支援学校や特別支援学級での学習に効果的だと考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。算数・数学の4番、5番についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょう。内田委員。

内田委員 私からは、算数のドリルとして、特別支援学級に通う2年生から6年生までの児童が使用する視点から、学研の引き算ドリル「かず・けいさん」7、8、それから掛け算ドリル「毎日のドリル」についてお話をしたいと思います。

まず、引き算ドリルは、練習量が児童の実態に即しており、繰り返して取り組むことで理解を深めることができるというふうに思いました。また、掛け算ドリルは、掛け算や割り算を習ったばかりの児童にとって、1回の練習問題数としては無理なく取り組める分量として適しているというふうに感じました。これらのドリル教材の使用により、繰り返し練習をすることで、基礎基本を確認しながら学習の定着が図られ、特別支援学級に通う児童にとっては大変有効だなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。算数・数学の1、2、3番についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょう。小池直美委員、お願いします。

小池直美委員 私も算数・数学種目の2番、3番、くもん出版の「かず・けいさん7 はじめてのひきざん」「かず・けいさん8 ひきざんおけいこ」、こちらについてお話をさせていただきます。

養護学校に通う我が子も、今このタイプの平仮名、片仮名、時計シリーズをちょうど使っております。

先ほど、こぼと教材出版のジャンプアップシリーズ、レベルアップシリーズ、それから「お金と時計の文章題」、全て共通ですけれども、こういったドリル形式ですと、1題ずつ切り離して取り組めるというタイプで、次へ次へと先をやってしまいたくて、ついついページをめくってしまう子には、集中してできるのではないかなと思います。また、先生にとっても、落ち着いて指導をしていただけるのではないかなと思います。

巻末に1ページできると1枚シールを貼れるというシートがついております。息子もそれをすごく楽しく取り組んでいて、今日は2ページやったから2つつけようねという感じで、達成感を味わうことができているので、とてもいい教材だと思います。

委員長 ありがとうございます。算数・数学の2番、3番、くもん出版の「かず・けいさん」7、8についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。石田委員。

石田委員 千葉委員、志水委員、内田委員、そして実際にお子さんが使われているという小池委員のお話にもありましたけれども、ドリルは、同じような問題を繰り返し解いていくことで、学習したことを確実に身につけるためにとても効果的な教科書となります。特別支援学級、特別支援学校の子どもたちが先生に丁寧に教えてもらい、できた問題にたくさんの丸をつけてもらうと達成感も高まるのではないかなと思います。

さて、私は「こえでおぼえるごあいさつえほん」についてお話したいと思っております。

国語・書写で選択の希望が挙がっていますが、道徳としての採択を希望する学校もあります。この本は、朝起きてから夜寝

るまでの日常生活で必要な挨拶が順番に並べられています。挨拶は、基本的な礼儀、そしてコミュニケーションの入り口です。本の構成は、各ページが立体的になっていて、動きもつけられる工夫があります。見開くと、日常生活のひとこまの絵、そのときの挨拶を子どもたちに聞き、ボタンを押すと正解が流れ、クイズのように活用ができます。楽しみながら、耳と目で場面と合わせた学習ができ、挨拶について学ぶことができると思います。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。国語・書写の「こえでおぼえるごあいさつえほん」についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。長谷川委員。

長谷川委員 私からは、国語・書写の4番についてです。先ほど野村委員からもお話がありましたが、「ニューワイド学研の図鑑」の昆虫の図鑑ですけれども、そのことについてお話しさせていただきたいと思います。

私も手に取って見ましたけれども、とてもきれいな写真で、ページ数が多く、とても興味を引かれるものでした。この虫は何だろうと思ったら、やはり先ほどおっしゃったように片仮名の名前がわかりやすく記載されておりますし、目に入ったところから言葉につながっていくなと思いました。

あと、立派な図鑑ですので価格としてもそれなりになりますけれども、各家庭で図鑑、辞典などをそろえると躊躇されるご家庭もあるかと思うんですけれども、そういったところを学校に行けばこの本が見られるとか、家庭状況にかかわらずいい本に触れられるというのが公教育の意義というか、よさだと思っておりますので、子どもたちに見てもらいたいなと思った次第です。

以上です。

委員長 ありがとうございます。国語・書写の4番の「ニューワイド学研の図鑑」についてのご意見でした。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 それでは、次にNo. 3の生活・地図・社会からNo. 8 体育・保健体育の教科領域で申請が挙げられている10冊の図書についてご意見を伺いたいと思います。この中にも他の種目でも希望が挙げられている図書がございますので、それも含めてご意見を伺いたいと思います。よろしく願いいたします。いかがでしょうか。野村委員、お願いします。

野村委員 私は、この領域の中の図鑑2冊について述べさせていただきたいと思います。

まず、No. 3 生活・地図・社会の1番「めくって学べる きかいのしくみ図鑑」ですけれども、機械の図版の各所に秘密を解明するめくりが設けられていまして、それを一つ一つめくすることで機械の内部の構造が詳しくわかるような工夫が盛り込まれています。思わずいろいろ開けてみたくなる、わくわくする気持ちを高める本で、社会や生活になじんでいるエスカレーターや洗濯機などの機械を改めて見詰め直すことができます。自らの興味関心に基づいて、無理のないペースでページをめくっていけますし、説明の理解もしやすいと思いますので、楽しく学習が進められると考えます。

また、続けてNo. 4 生活・理科の1番「はっけんずかん うみ改訂版」についてですが、親しみのあるイラスト図版と丁寧な解説をつけた写真図版が適切に配置されています。イラスト図

版のページには各所にめくりが設けられていて、それを一つ一つめくることで、その生き物の別の姿が見られるような工夫が設けられています。いながらにして水族館で生物を観察する楽しさや、知的好奇心を高めるような工夫された内容でありますし、説明も全て平仮名を使用していてわかりやすく簡潔です。言語での理解が難しい児童生徒であっても、興味を持って仕掛けを触って、遊びながら生物の多様性を学ぶことができるものと考えています。

以上です。

委員長 ありがとうございました。No. 3 生活・地図・社会の1番とNo. 4 生活・理科の1番の図書についてのご意見でした。他はいかがでしょうか。小池直美委員。

小池直美委員 私も野村委員と同じになりますが、生活・理科、1番の「はっけんずかん うみ改訂版」、こちらも我が子が持っているシリーズ、海ではなくて動物なんですけれども、自宅にあります。めくる仕掛けがとってもたくさんあって、何度も何度もわくわくしながら、また、自分のペースでじっくり絵を見て楽しんでおります。絵がほとんどで、説明のページもありますけれども、とても簡単な言葉で、短い文で書かれていますので、とても見やすいです。わくわくしながら見られる本というのは、すごく集中できますし、記憶にも残るとてもいい図鑑だと思います。

委員長 ありがとうございました。生活・理科の1番「はっけんずかん うみ改訂版」についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。長田委員。

長田委員 私は、まず三省堂の「こどもきせつのぎょうじ絵じてん」について触れたいと思います。この本は、No. 3の2、生活・地図・

社会の分野と、No. 4 の 3、生活・理科の分野で希望が出ています。手にして読みながら、日本の1年間の季節を感じる行事は素晴らしいと改めて感じました。

現代の家庭を考えると、核家族化していることで、これだけのことを家庭や学校で誰もが教わってきているわけではないのではないかと思います。だからこそ、家庭や学校でこの本を繰り返し使うことで1年かけて、そのよさを味わう体験が、その子どもにとっての財産になると感じました。

本校の前には竹林があるんですけれども、ちょうどこの時期、七夕のために毎年竹をわけていただいて、学年ごとに飾っています。季節を感じるということが、体験として、あるいは本を見ながら繰り返し学習できることは、大人にとっても大変よい形だなというふうに思うので、この図書は大変よいなと思います。

また、この図書は、今のくくりではないんですけれども、No. 10の道徳の7でも希望があります。社会生活全般を学ぶために活用価値が高い内容だと思いました。

もう1冊いいですか。

委員長 はい、お願いします。

長田委員 No. 7の家庭・職業家庭の1、合同出版の「絵でわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん」について触れたいと思います。

身の回りの基本を毎日の生活に沿ってわかりやすく絵で示してあり、ADLを獲得するために必要なポイントもしっかりと押さえられています。発達を促す児童のためだけでなく、教師も保護者も一緒になって学ぶべき内容が丁寧に組み込まれていると感じました。社会生活を営むうえで大切なことは繰り返し学ぶ機会をつくっていききたいので、見合った内容であると感じ

ました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。生活・社会の2番と家庭・職業家庭の1番の図書についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょう。越委員、お願いします。

越委員 生活・理科の2番「フレーベル館の図鑑ナチュラ ふしぎをためす図鑑」、こちらは身近な材料で作ってみたい実験というか、作ってみたいものがたくさんあり、ページを行ったり来たりと、どれをやってみようかなとわくわくした1冊でした。

 あともう一つ、3番の「こどもきせつのぎょうじ絵じてん」、こちらは、読むとか見るだけではなく、実際に体感できる1冊でした。例えば、はがきの作り方やシャボン玉の作り方、冷たいデザート、また、季節の花の名前やその季節の歌までが学べ、春夏秋冬、一年中が楽しく、季節の訪れや変化が待ち遠しくなる本だなというふうに思いました。

 子どもは、テレビや本で見たものをすぐその場でやってみたいという気持ちが湧くものでして、家でもテレビとか本を見ていて、これ、やってみたいって言ったときに、材料が特別なものだと、すぐそこで体験させてあげることができないんですが、こちらの2冊の図鑑のものは、家にある材料で、ほとんどのものがその場ですぐやらせてあげることができるような実験内容とか、体験できる内容のものだったので、子どものわくわく感をその場でストップさせずに、すぐそこで体験させることができる、いい本だなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。生活・理科の2番と3番の図書についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょう。米倉委

員。

米倉委員　　今の越委員がおっしゃったように、見て実際にやってみると
いうもので、私は、体育・保健体育の合同出版の「運動が得意
になる43の基本レッスン イラスト版体育のコツ」を取り上げ
たいと思います。

体を動かすことがあまり器用でないお子さんもいると思うん
ですが、イラストを見て、どういうふうはこの運動をすればよ
いのかということがわかります。これが駄目という動きがバツ
で示されているので、そのことも自分で見てわかるなと思いま
した。例えば縄跳びを、手首をこう返しながら回す動きがある
んですけれども、それを肩でぐるぐるこうやって動かすのは駄
目というのに、バツがついていて見てわかるようになっていま
す。その運動をするのに、子どもが見通しを持ってスタートで
きるというのはとてもいいなというふうに思いました。

前後してしまいますけれども、図工・美術のほうのくもん出
版の「かみこうさくあそび」も取り上げたいと思います。

こちらは、はさみで切り込みを入れて、本当に楽しいイラス
トの作品づくりができるものになっていました。でき上がった
作品をまたちょっと動かして楽しむことができるので、自分で
つくったもので遊んで、大事にできるんじゃないかなというふ
うに思いました。

例えば、お母さんに母の日に渡すカードがあるんですけれど
も、開くとお花の絵が出てくる仕掛けになっていて、とっても
かわいいカードなので、きっとおうちの人には内緒でこっそり
つくってお渡しするんじゃないかなということが想像できて、
とてもほほえましい本ですし、それから、自分がやるというこ
とがはっきりわかって作業ができることや、はさみやのりを使
って、道具を使うということで生活に生かすことができる本、
それが楽しみながらできる本ではないかなというふうに思いま

した。

以上です。

委員長 ありがとうございます。体育・保健体育の1番、図工・美術の1番の図書についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。小池直美委員、お願いします。

小池直美委員 先ほどの越委員と同じになりますが、生活・理科、3番の三省堂「こどもきせつのぎょうじ絵じてん」、こちらなんですけれども、年中行事、記念日、祝日などを月ごとに解説されていて、その行事の由来や歴史が絵とやさしい文章で解説されています。特別支援教育を受ける生徒たちにとって、日々の生活を一日一日リズムよく送っていく中で、気温の変化を体感することはできても、今は夏だから暑い、冬だから寒くて雪も降るんだなど、季節を知ることというのはまだ難しい子もたくさんいると思いますが、そんな中で、四季折々のお正月、ひな祭り、七夕など、昔ながらの行事も季節と一緒に学んでいけるというこの本は、とても勉強になるなと感じました。

委員長 ありがとうございます。No. 4の生活・理科、「こどもきせつのぎょうじ絵じてん」についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。百武委員。

百武委員 特別支援教育に係る子どもたちにとって、生活の自立、あるいは職業自立を目指すということは大切ですし、そのための指導も大変大切だというふうに思っています。私は、No. 7家庭・職業家庭の2番に挙がっている「マナーやルールがどんどんわかる！新装改訂版みちかなマーク」について、お話しさせていただきます。この本は、道徳の種目でもあわせて希望が挙がっていますので、それも含めて発言させてください。

この本の中には、家庭の中にある電化製品の警告図記号であるとか、洗濯の扱い方を示した洗濯表示マークとか、日常を安全に生活していくために知っておきたいマークとか、あるいは、町なかに当たり前に見かける飲食禁止、携帯電話の使用禁止というような禁止マーク、あるいは、2列に並びなさいとか、左側に立つように指示するような指示マークとか、マナーやルールを喚起するマークが、この本の中にいっぱいあるんです。それを見ながら、これを学ぶことができる。子どもたちの自立に向けた、实际的、具体的な内容の指導という点でも、コミュニケーションに課題のある子どもたちにとっても、学びやすい本だなというふうに思います。

それから、その次の3番の「つくってたべよう！お料理マジック」——2でしょうか、ツーでしょうか——ですけれども、人にとって食べることというのは基本だと思うんです。子どもたちの生活自立を考えたときに、この食べるということを抜きにして考えることはできないと思います。この本は、「お料理マジック」というタイトルがついているんですが、その題名のとおり、電子レンジを使うとか、本当にわずかな手間調理することができる料理品が、豊富な写真とともに描かれています。

例えば、イチゴを電子レンジで加熱してジャムにする調理とか、あるいは、野菜を薄くスライスしたものを電子レンジにかけて野菜チップスをつくる方法とか、たくさんのレシピが載せられています。そして、例えばさっきのイチゴジャムのページですけれども、ビタミンCについても触れていて、病気やけがをしたときに助けてくれる栄養素というふうに紹介しています。調理の方法を身につけて、実際に調理をして食べるだけではなくて、健康を考えながら、よりよく生きるために食べる、調理するということで、子どもたちの学びが大きく広がり、自立のための力がついていくのではないかというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。No. 7 家庭・職業家庭の 2 番、3 番の図書についてのご意見でした。他はいかがでしょうか。志水委員。

志水委員 このくくりの中では、図鑑とか絵辞典という名称のものが多く使われているところですが、その中で、生活・理科、2 番の「ふしぎをためす図鑑 かがくあそび」についてお話ししたいと思います。

先ほど越委員も触れていらっしゃいましたけれども、この本では多く記載されている科学的な楽しい遊びを通して、理科の学習を進めることができると思いました。特別支援学校や特別支援学級に通う児童生徒の中には、こういった経験が少ないという場合があります。光や水、空気など、身の回りにある素材を活かして取り組める実験を、図書を通して知ること、自然の事物や現象に興味を持つこともできます。そして、自分がやってみたいという思いをもとに、チャレンジして体感することが、また次へ発展する深い学びにつながるのではないかなというふうに思います。

このような図鑑ですとか絵辞典という名称が使われている図書は、まず作りがとてもしっかりしておりまして丈夫なものが多いので、扱いやすく、繰り返し使うことに耐えられるようになっています。先ほど長谷川委員が価格のことをおっしゃっていたのは、本当にそのとおりだなというふうにも思いました。

また、文章だけでなく、併せて美しい写真やシンプルなイラストが使われているので、興味関心を引きやすく、視覚的に理解しやすいという利点もあります。特別支援学校や特別支援学級に通う児童生徒が学習する図書として、こういったものは適しているというふうに考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。No. 4 の生活・理科、2 番の「ふしぎをためす図鑑 かがくあそび」についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。

それでは、最後にNo. 9 英語とNo. 10 道徳の教科領域で申請が挙げられている14冊の図書についてのご意見を伺いたと思います。先ほどの教科領域で申請されている図書も踏まえておりますが、加えてご意見等ございましたら、よろしく願いいたします。いかがでしょうか。百武委員。

百武委員 それでは、No. 9 英語の1番に挙げられている「小学ドリル 3・4年生 はじめてのアルファベット」ですが、アルファベットの大文字や小文字を覚えるドリルです。ドリルなんですが、専用のアプリをダウンロードすることで、スマホであるとかタブレットを使って音声を聞くことができます。ただ書いて覚えるだけのドリルではなくて、聞くことも含めて、聞く、読む、書くという力が身につくように工夫されていると思いました。

また、子どもによって、アルファベットの小文字のbとdとかpとqのように、鏡というんですか、左右対称になっているようなものや、アルファベットの小文字のhとnとか、aとdのように縦棒の長さがちょっと違うぐらいにしか感じなかったりとか、いわゆる形が似ている、覚えづらい文字があります。この本では、似た形の文字というページがありまして、実際に声を出しながら練習するようになっています。似た文字を並べて書くことで、似ていても違うんだということに子どもたちが

気づくというふうに思いました。

後半にはローマ字の練習もあります。いわゆる横文字が私たちの生活の中には数多く並びます。反復した学習でローマ字を身につけることで、町なかの文字も読めるようになるでしょうし、また、英語の単語を読むことにもつながって、子どもたちがよりよく生きていくことにつながるのではないかというふうに思いました。英会話の学習などとともに、この本を使うことでアルファベットをしっかりと身につけられるのではないかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。No. 9 英語の 1 番「小学ドリル 3・4 年生 はじめてのアルファベット」についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょう。井上委員、お願いします。

井上委員 同じく英語の 2 番と 3 番、東京書籍の「英語のうた うたえる B O O K」と永岡書店の「えいごどうよう うたのえほん」ですけれども、これはどちらもボタンを押して英語の歌を聴く、優れたおもちゃのような書籍です。どちらもネイティブスピーカー、生まれつき英語をしゃべっている人が楽しい感じで歌を歌っていて、英語らしいリズムとか発音とか、それから表現についても身につけるのに適していると思います。

「うたえる B O O K」のほうは、英語圏の子どもたちがよく歌う 3 6 曲が収録されています。練習モードでは、ワンフレーズずつ区切ってリピートができたり、それから、カラオケモードでも小さな声と一緒に歌ってくれているんですね。ですので、何度も聴いていると自然と一緒に歌えるようになるのではないかというふうに思いました。

それから、「どうよう うたのえほん」のほうは、日本語の童謡としてもなじみのある曲ばかりが 1 6 曲収録されています。

歌詞カードには、英語の歌詞に読み方が平仮名で書いてあるんですね。片仮名ではなく平仮名で書いてあるので、見ながら一緒に歌いやすいと思います。また、日本語の童謡として歌うときの日本語の歌詞と、それから楽譜も載っています。さらには、ダンスがあるものは振りつけも絵で描いてあるので、子どもの特性に応じて様々に楽しみながら学習できるというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。No. 9 英語の 2 番と 3 番の図書についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。越委員、お願いします。

越委員 道德の、まず 1 番「あかちゃんのおそびえほん（6） いいおへんじできるかな」、この本は、多分皆さんの家庭にあったのではないのかなというふうに思います。我が家にもありましたが、小児科や歯医者さんにも必ず設置してある 1 冊でして、なぜか、家にもあるのに、外にもあると思わず手に取ってしまう絵本でした。

登場する動物たちが大きな口を開けてお返事するシーンがとても印象的で、読み聞かせをしているときに、ふと子どもの顔を見ると、絵本の動物たちと一緒に大きな口を開けている子どもの姿を今もちょっとふと思い出したりもします。家庭にもあるんですけれども、その家庭にある親しみのある本が、また学校にあって、また先生の違った目線での絵本からのご指導が入るという点もいいのかなというふうに思いました。

続いて 2 番「げんきにごあいさつ」は、楽しい 3 匹のお友達のやりとりの中に、おはようからおやすみまで、1 日に使う挨拶が全て入っている。扉の形のページをめくる仕掛けで、受け答えの仕方までがよくわかって、とてもいいなというふうに思

いました。

先ほど生活・地図・社会で既に採択されている、4番「子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活のマナー」というところで、生活マナーは、自分のためだけではなく、一緒に生活する人々が気持ちよく暮らしていくための社会的なルールということがよくわかり、また、日常生活の基本的なマナーがわかりやすく載っていました。また、そのマナーを身につけるだけではなく、そのマナーが人を思いやるということにもつながるということがよく理解できました。

また、道徳の6番「絵でわかるこどものせいかつずかん2 しょくじのきほん」、これは改めて我が子にもまたちょっと見せたいなというふうに思いました。子どもは、毎日毎日言い聞かせても、言い聞かせるだけではなかなか理解ができません。イラストで描かれた生活の場面を実際に目で見て、自分の生活や経験と重ね合わせることで身につくものだなというふうに、この本からわかることができました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。No. 10の道徳、1番、2番、4番、6番の図書についてのご意見を伺いました。他は。小池直美委員、お願いします。

小池直美委員 私も越委員とまた同じなんですけれども、道徳の「絵でわかるこどものせいかつずかん2 しょくじのきほん」、これは先ほど家庭・職業家庭の種目のほうでも「みのまわりのきほん」として、同じシリーズでありましたけれども、この両方は、イラストがとてもシンプルで見やすく、ページ全体に余白がとても多くて、文字も大きくて、簡単な言葉で、子どもにとっても見やすいのではないかと感じました。

生活の基本や食事など、毎日毎日繰り返される基本的なこと

がまだまだできていない子どもたちでも、自分でやってみようという気持ちになりそうです。先ほど越委員もおっしゃいましたけれども、親が言葉を使って、こうして、こうするんだよというふうに言うよりも、この本の絵を見て、イラストのとおりやってみようよという声かけをするなどすると、すごく効果的なのではないかなと思いました。

委員長 ありがとうございます。No. 10 道德の6番「しょくじのきほん」についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。小池規子委員、お願いします。

小池規子委員 私もNo. 10 道德でございますが、先ほど越委員、そして小池直美委員からも、ご家庭と学校との連携というようなこともお話をいただいたところでございますけれども、特別な教科道德は、各教科や自立活動との関連を密にしながら、豊かな道德心情を育て、広い視野に立って道德的判断や行動ができるように指導することが求められております。各教科との関連という点で、まず2冊について述べさせていただきたいと思います。

No. 10 の3になります。「じょうぶなからだになれるよ！」ということで、こちらは体育・保健体育でもう既にこれまで採択されているものでございます。まだ周りの様子を見て行動することが難しい児童生徒にとって、病気、けがなど、自分自身が具合が悪いとかそういったことにどう対処していくか、わかりやすく解説がされていて、健康について理解しやすいというふうに思います。また、その際のマナーについても学ぶことができ、周囲との関係性についても学習ができる。そして、それが社会性といった道德的な学びに発展していける内容だなと思いましたので、道德の教科書としても適しているというふうに思ったところです。

そして、8番の「知育えほん マークのずかん」は図工・美術

で採択されているところですがけれども、こちら道路標識ですとかリサイクルなどの身近なところで目にすることが多いマークが大変大きく描かれておりまして、絵本を開いたその瞬間に子どもたちが、「あっ、これ知ってる」とか、「見たことある」というふうに反応するんじゃないかなということが想像できました。子どもたちが知っている、持っている知識、そこから発展させて、社会への関心が高められ、道徳の教科書としても適しているのではないかなというふうに感じたところです。

もう1冊申し上げさせていただきますと、これは道徳単体で新規での希望があった5番の「おもいやりの絵本 みんなのきもちがわかるかな？」という本でございます。こちらですが、思いやりという目に見えない人の気持ちを学ぶことを狙いとしている本でございます。児童生徒が、ご家庭ですとか、あるいは学校などで経験したことのある行動を振り返って、そのときにお互いの気持ちを想像するようになっていきます。なかなかこのもやもやとしたような、自分でも言葉に表せないような、そういった気持ちに気づくことができたり、あるいは、そのときの相手の気持ちを想像することができる、そういった題材が豊富に掲載されていて、道徳の教科書として適しているのではないかなというふうに思いました。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。No. 10 道徳の3番、8番、5番の図書についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょう。長谷川委員、お願いします。

長谷川委員 私からは、7番、三省堂の「こどもきせつのぎょうじ絵じてん」をお話しさせていただきます。

先ほど生活・理科にも出てきた書籍ですがけれども、子どもの行事を通して、やはり日本の四季を感じられるというのがとて

もいいなと思いました。とても身近で興味が持てる。それから、衣食住というか、こんなときにはこんなものを食べて、みたいなどころがとてもわかりやすく見られるなと思いました。あと、複数選択種目として幅広く活用できるのではないかなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。No. 10 道德の7番「こどもきせつのぎょうじ絵じてん」についてのご意見を伺いました。それでは、他にいかがでしょうか。長田委員。

長田委員 私は、今、越委員からもありましたけれども、4番の偕成社の「子どものマナー図鑑（1）ふだんの生活のマナー」についてお話しします。

1日の生活を通して、体をつくること、健康に毎日を送ることを自然に学べる内容になっていると感心しました。絵がとても優しいタッチで描かれており、家庭でおうちの方が解説するときに、繰り返し学びやすいなと思います。中学生でも、宿泊を伴う行事のときに脱衣所が水浸しになって困ったことがあります。マットの上で拭いてから、小さいときから何度も機会あるごとに実践されていると、身についてしまうことなんだなというふうに実感しています。繰り返し自然に身につけることで、人との接し方も日常の生活の中で身につけさせていきたいと考える担当の先生方や保護者の願いをかなえる1冊になると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。No. 10 道德の4番、偕成社の「子どものマナー図鑑（1）ふだんの生活のマナー」についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。笹原委員、お願いし

ます。

笹原委員 先ほど小池規子委員からもありましたけれども、新学習指導要領では、道徳の目標として、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととするというふうに書かれています。非常に抽象的な表現で難しいとは思いますが、私がこれからお話しする3冊は、どれもよりよい生活の過ごし方を特別支援学校や学級に通う子どもたちにとってもたいへんわかりやすく、自分事として捉えさせ、道徳性を養う工夫がなされているなど感じた3冊になっています。

具体的には、1冊目は、道徳の2、先ほど越委員からもご意見がありましたけれども「げんきにごあいさつ」、この本は、おはようからおやすみまで、1日の大事な挨拶言葉がストーリーの中で漏れなく入っておりまして、楽しみながら学習できるように工夫されています。

2冊目は、先ほど越委員、小池直美委員からもありましたけれども、道徳の6「絵でわかるこどものせいかつずかん2 しょくじのきほん」です。この本は、食事に関する基本動作やマナー、子どもでもできるお手伝いをイラストでわかりやすく示していますので、生徒にとっても無理なく身につけられる工夫がされているなど思いました。

最後ですけれども、道徳の10、「ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐらの1ねんかん」です。この本では、ぐりとぐらの季節感あふれる生活の様子を描いたイラストに、リズムのよい詩が組み合わせられて、和やかな雰囲気を出しております。どの季節も楽しみを見つけて元気に過ごすぐりとぐらが、それぞれの月の過ごし方を教えてくれます。1年間の行事を通して身近な出来事への興味関心を広げるために、適切な1冊になっていると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。No. 10 道徳の 2 番、6 番、10 番の
図書についてのご意見を伺いました。他はいかがでしょうか。
石田委員、お願いします。

石田委員 先ほどから、越委員、小池規子委員、それからその他の委員
の方々からもお話がありましたけれども、特に道徳の教科書で
絵本のシリーズがすごく多いかなという印象があります。その
中で、私はNo. 10 の 1 の「いいおへんじできるかな」について
お話ししたいと思います。

子どもたちが興味関心を持って学習に取り組むことができる
本だと思います。ひよことか犬とか猫とか、身近な動物がキャ
ラクターとして登場して、飛び出す絵本のような構成になって
いて、動物たちが返事をする動きが実際に見えます。日常の生
活のルールを楽しく学ぶことができる教科書ではないかと思ひ
ます。

気持ちのよい挨拶、思いやり、公正公平などは、私たちが社
会の一員として過ごしていくためにとても大切なことです。今
回、道徳として採択の希望がある教科書は、どの本も、子ども
たちの発達段階や特性を考慮して、興味を持って学ぶことがで
きる教科書であると感じました。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。No. 10 道徳の偕成社「いいおへんじ
できるかな」についてのご意見を伺いました。他はいかがでし
ょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。それでは、ここまで一般図書について皆様

のご意見を伺ってきましたが、子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図書の「●」の発行者による供給が困難となった図書を除いて引き続き使用できること、そして、今回審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や、複数種目で希望のある一般図書は、いずれも適切であることということによろしいでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 それでは、議題1「令和3年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」の審議はここまでとしたいと思います。

ここで10分間ほど休憩としたいと思います。右側の時計で25分になりましたら、審議を再開いたします。

それでは、休憩といたします。

午前11時13分休憩

午前11時25分再開

委員長 それでは、審議を再開いたします。

再開に当たりまして、藤沢市教育委員会傍聴規則第6条第4項にあります写真撮影につきまして、報道機関から現在申請がございましたので、これを許可することといたします。

それでは、引き続きまして議題2「令和3年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」の審議を行います。

昨年度の答申については、各議題の審議結果をまとめた審議のまとめを作成し、会議録を添付資料としておりました。今回の答申をどのような形にするか、ご意見をお願いします。米倉委員。

米倉委員 昨年度の審議結果のまとめを拝見いたしました。とてもわかりやすいと思えました。昨年度と同様に、審議をまとめたものを答申とする形がよいと思います。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょう。小路委員。

小路委員 私も米倉委員の意見に賛成です。答申としてお示しするには、審議の結果がわかりやすいということが大切だと考えます。私も、審議の結果を昨年度のようにわかりやすくまとめたものを答申とし、参考として会議録を添付するのがよいと考えます。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょう。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。それでは、答申については、審議の内容をまとめたものを作成し、会議録については参考に添付するというご意見をいただきましたが、その方向でよろしいでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 それでは、答申については、2回目の中学校用教科用図書の審議、並びに3回目の特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書についての審議を審議の結果としてまとめ、答申するとともに、資料として会議録を添付することといたします。

改めて、議題2「令和3年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」確認いたします。

1点目の第2回審議委員会における議題「令和3年度使用中学校教科用図書の審議について」は、審議してきた結果を項目

ごとにまとめた資料を私のほうで作成し、それをもって答申とすること、また、審議の会議録を資料として添付し、答申とすることでいかがでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 2点目としまして、本日の議題1「令和3年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」は、子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図書は「●」の発行者による供給が困難となった図書を除いて引き続き使用できること、そして、今回審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望のある一般図書はいずれも適切であることと考える旨を答申したいと考えますが、いかがでしょうか。

各委員 よろしくお願いします。

委員長 ありがとうございます。

なお、会議録につきましては添付資料とし、私と署名委員の石田委員で確認した後、答申をするようにいたしたいと思いますが、これについてはいかがでしょうか。

各委員 結構です。

委員長 ありがとうございます。

他にご意見はございますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。それでは、議題2についての審議を終了いたします。

これで予定された議題に関する審議は終わりましたが、全体を通して皆様から何かご意見はございますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。特にないようですので、それでは、事務局から何かございますでしょうか。お願いします。

事務局 それでは、今後の予定についてご説明いたします。

事務局といたしましては、今後、本審議委員会の会議録を作成いたしまして、審議委員長に確認いただきます。審議委員長におかれましては、ただいまの審議の結果を踏まえて答申を作成いただき、会議録を資料として添付し、署名委員に確認をしていただきます。その後、審議委員長から教育長への答申を行うこととなりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

それでは、これを持ちまして全ての審議を終了いたしましたので、第3回令和3年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を閉会といたします。本日はありがとうございました。

この会議の結果の記載に相違ないことを、確認する。

署名委員